＜千葉看護学部 看護学科＞（認定課程: 養護教諭一種免許状 ）

（１）各段階における到達目標

履修年次		到　　達　　目　　標
年次	時期	
1年次	前期	・大学で看護という学問を学び始める心構えおよび具体的な方法について学ぶ。 ・「いのち・人間」を考えるための基盤となる教養を身につけるべく、自然科学、社会・文化、語学などについて学びを深め、社会人としての一般教養を醸成し、グローバルな視点を養う。 ・専門職の教育として、医学的知識を学ぶための基礎となる人の身体について学修する。
	後期	・前期で学んだ内容についてさらに幅広く、なおかつ深く学修する。 ・看護実践の基礎となる技術を学修する。
2年次	前期	・「いのち･人間」を考えるための基盤となる教養を身につけるべく、自然科学、社会･文化、語学などについて、自身の興味のある分野について選択し、さらに学びを深める。 ・１年次に学修した医学的知識を基盤として、疾患の理解を深める。 ・学校教育の基礎知識を身につけ、教職に求められる理念や思想、今日的課題について理解できる。
	後期	・医療について個別の視点から社会全体を見るための基礎知識を身につける。 ・看護について分野ごとに基本的な知識を身につける。 ・学校教育の諸制度および教育方法などについて説明できる。
3年次	前期	・健康上の課題のある対象への養護実践について学修する。 ・養護実践についての基礎知識を学修し、イメージすることができる。
	後期	・臨床の場で実習することによって、これまで学んだ知識を深める。
4年次	前期	・臨床の場で実習することによって、これまで学んだ知識を深める。 ・教育の場で実習することによって、これまで学んだ知識を深める。 ・多職種と協働する方法、調整力やマネジメント力を高める方法について説明できる。 ・養護教諭としての志向を高め、自分自身の課題について考えることができる。
	後期	・これまで学んだ知識を統合し、深める。 ・養護実践能力の構成要素について説明できる。 ・養護実践における課題を言語化し、その解決方法について考えることができる。

＜千葉看護学部　看護学科＞（認定課程:　養護教諭一種免許状　）

（２）具体的な履修カリキュラム

履修年次		教育の基礎的理解に関する科目等	養護に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期	科目名称	科目名称	科目名称	科目名称	科目名称
1年次	前期		体の仕組みと働きⅠ（概論、血液と免疫系、循環器系、呼吸器系、神経系）		英会話Ⅰ（ベーシックⅠ）	基礎看護援助方法Ⅰ（看護技術の基本）
			病原微生物学		ICTリテラシーⅠ（ベーシック）	
			看護学概論			
			学校保健Ⅰ（学校保健の基礎的理解）			
	後期				スポーツ科学	
			学校保健Ⅱ（学校保健の発展的展開）			
			公衆衛生学			
			栄養学総論			
			体の仕組みと働きⅡ（骨格系、筋系、消化器系、泌尿器系、恒常性の維持、生殖器系）			
			病態生理学			
2年次	前期		疾病治療論Ⅲ（感覚・免疫・消化器系）	クリティカルシンキングⅡ（論理的思考の展開）	スポーツ実習	
		教育原理	臨床薬理学			
		教育心理学	疫学・保健統計論			
		教職論				
	後期	教育制度論	精神看護援助論Ⅰ（精神保健）			小児看護援助論Ⅰ（健康生活援助）
		教育課程論	臨床看護援助論Ⅰ（急性期）			
		教育方法論				

履修年次		教育の基礎的理解に関する科目等	養護に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期	科目名称	科目名称	科目名称	科目名称	科目名称
3年次	前期	道徳教育/総合的な学習の時間の指導法	学校健康相談		日本国憲法	小児看護援助論Ⅱ（臨床看護援助）
		学校教育相談	養護概論			精神看護援助論Ⅱ（精神看護）
		特別支援教育の基礎				
		特別活動の指導法				
	後期	生徒指導論	臨床看護学実習（急性期・慢性期）			精神看護学実習
4年次	前期	養護実習事前・事後指導				母性・小児看護学実習
		養護実習				
	後期	養護実習事前・事後指導				
		養護実習				
		教職実践演習（養護教諭）				